



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2011年9・10月号（484号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・社会司教委員会	3
・典礼委員会	3
・学校教育委員会	4
・難民移住移動者委員会	5
・カリタスジャパン	8
・正義と平和協議会	10
・部落差別人権委員会	11
・外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会.....	14
・HIV/AIDS デスク	15
・中央協議会事務局（総務）	16

常任司教委員会

■7月定例常任司教委員会

日 時 2011年7月7日（木）10：00－15：00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 8人

報 告

1. 駐日教皇大使退任について

教皇ベネディクト十六世は6月6日、駐日教皇大使のアルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教

をハンガリー教皇大使に任命したことを発表した。日本司教協議会では、大使の送別会を7月25日(月)に開催するため、準備を行う。

2. フランシスコ会聖書合本の最終原稿完成について

6月16日付書簡にて、フランシスコ会聖書研究所・所長の小高毅師から、フランシスコ会訳聖書の新約・旧約聖書合本を8月15日に刊行する通知と、同書作成にあたっての寄付の呼びかけに対する司教方への御礼が届いたことが報告された。

3. FABC 神学関係局会議について

2011年5月2日-8日に開催されたFABC神学関係局の会議に参加した櫻井尚明師から報告書が届いた。

4. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災関連の募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地功司教から報告された。6月30日現在の募金状況は、520百万円となった。

5. 中央協議会の口座に入金された義援金について

6月30日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災関連の義援金とその用途に関する報告が行われた。義援金総額は23,773,972円、そのうち、被災地への寄付および仙台復興会議にかかる費用などで3,687,741円を支出した。

審 議

1. 「東日本大震災を憶え、慰めと復興のための礼拝」共催依頼について

日本キリスト教協議会(NCC)が2011年9月11日に計画している「東日本大震災を憶え、慰めと復興のための礼拝」に「カトリック中央協議会」が共催することを承認した。なお、カトリック教会としては、同日のミサで東日本大震災後半年を迎えて祈ることを司教協議会会長名で各司教を通して依頼すること、また、エキキュメニカルな活動を行っている各教会には、教区を通して、NCCが呼びかけている礼拝の内容を紹介し、同時刻に合同で礼拝できるようパンフレットを配布することを申し合わせた。

2. カトリック日韓学生交流会の名称変更について

青少年司牧部門からの提案どおり、現在の「カトリック日韓学生交流会」の名称を、交流会の参加者を学生に限定していない実情に合わせて、「日韓青年交流会」と変更することを承認した。

3. カトリック中央協議会管理職人事について

前田万葉事務局長の広島教区司教任命にともない、2011年8月1日からのカトリック中央協議会管理職人事を以下のとおり承認した。

①カトリック中央協議会事務局・事務局長(司教協議会秘書室長、法人事務部長兼務)

宮下良平(東京教区司祭)

②カトリック中央協議会事務局・事務局次長(新聞事業部長兼務)

清川泰司(大阪教区司祭)

③カトリック中央協議会事務局・出版部長

嘉松宏樹(長崎教区司祭)

4. 中央協議会発行出版物の企画承認について

1) 『カトリック教会の教え』改訂について

「アヴェ・マリアの祈り」確定に伴い、『カトリック教会の教え』の「第四部 キリスト者の祈り」第二章「第二節 聖母マリアへの祈り」全文を差し替える対応として、以下の事項を承認した。

①抜き刷り形式で該当部分のPDFファイルを作成し、中央協議会ウェブサイトで公開する。各種媒体でこの公開を告知し、インターネット環境が整っていない場合は、希望者にプリントを郵送する旨、併せて伝達する。

②重版準備を早急に開始する。重版完成時に、旧版在庫は廃棄する。

2) 出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。

①書籍名 キリストの神秘を祝うー典礼暦年と信心ー(仮称)

編 者 日本カトリック典礼委員会

- 内 容 典礼委員会の全国典礼担当者会議で行われた講話
- ②書籍名 入門・憲法二十条一国是と信教の自由
- 著 者 谷 大二、溝部 脩、森上洋介、吉田 隆
- 内 容 カトリック 20 条の会主催で開催した 2010 年、2011 年の 2 回にわたるシンポジウムの講演記録

社会司教委員会

■司教のための社会問題研修会

- 日 時 2011 年 7 月 25 日（月）13：00－17：00
- 場 所 日本カトリック会館 マレラホール
- 参加者 約 50 人
- 講 演 「福島原発事故 何が起きたか、何を学ぶか」
- 講 師 田中三彦さん（翻訳家、科学評論家、元原子炉設計技術者）
- 司 会 菊地 功司教

はじめのあいさつのなかで、委員長の高見大司教は、毎年 12 月に行われている社会問題研修会を前倒して緊急に研修会を行った経緯を説明した。

講師の田中三彦さんは、はじめに、新聞、テレビでは報道されていない内容について客観的なデータをもとに説明し、日本がこれから何を選択するのか代替案を示したいと述べた。

前半は、福島原発で何が起きたかを実際の写真と図を多用して説明した。後半は、今回の原発事故から何を学び、何を選択するのかという点について言及した。自分たちが何を失ってきたのかを見つめ、エネルギー依存のライフスタイルを見直す必要性を説いた。これまでのように大量消費を続けていけば、どんなエネルギーでも足りなくなる可能性はある。大量にエネルギーを消費し続けるあり方を前提とするのではなく、考え方そのものを転換しパッシブ(注)な技術を進める必要性を強調した。

谷司教はおわりのあいさつで、司教団メッセージ『いのちへのまなざし』（2001 年）の生命科学の進歩と限界の項目にある一文を紹介した後、今回の福島第一原発事故に対しての司教団としてメッセージを何らかの形で発表したいとの意向を示した。

（注）パッシブとはアクティブの反対語で、「受動的」という意味。「熱や力を自然のまま利用し、しかも汚れを生まない」こと。

典礼委員会

■定例会議

- 日 時 2011 年 7 月 11 日（月）10：00－14：45
- 場 所 日本カトリック会館 会議室 3
- 出席者 8 人
- 欠席者 3 人

審 議

1. 2011 年度全国典礼担当者会議のプログラムについて
2011 年 9 月 5－7 日に御聖体の宣教クララ修道会・軽井沢修道院（長野・北佐久郡）において開催する

「典礼の空間」をテーマとする掲記会議プログラムについて審議し、講話内容と担当者を決めた。

2. 「朗読福音書」について

前回の結論をもとにした見積もりについて審議した。審議結果をふまえて出版部と協議し、出版企画書を常任司教委員会に提出する。

3. 「叙唱」「公式祈願」改訂訳の再検討箇所について

前回は引き続き、2009年度臨時司教総会で審議した結果、当委員会での再検討を求められた箇所を審議した。次回以降引き続き検討を行う。

4. 教皇庁エクレジア・デイ委員会指針「ユニヴェルセ・エクレジエ」について

2011年4月30日に公布の掲記指針を確認した。

次回定例会議 2011年9月5日(月)午前中 御聖体の宣教クララ修道会・軽井沢修道院(長野・北佐久郡)

■『ミサ典礼書』改訂委員会

日 時 2011年8月3日(水)15:00-5日(金)12:00

場 所 厳律シトー会(トラピスチン)那須の聖母修道院(栃木・那須郡)

出席者 9人

審 議

1. 新『ミサ典礼書』の「司牧者用手引書」について

前回の指摘に基づいて各担当者が修正した司式者用の「手引き書」(案)について検討した。今回の指摘を受けてさらに修正を加えたものを、次回も引き続き検討する。

2. 今後の作業予定

今後の作業予定について確認を行った。

■「公式祈願」研究小委員会

日 時 2011年6月20日(月)14:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 3人

「種々の機会のミサ」の公式祈願の見直しを行った。

日 時 2011年7月26日(火)10:00-16:00

場 所 日本カトリック神学院(東京キャンパス)

出席者 3人

「種々の機会のミサ」の公式祈願の見直しを行った。

学校教育委員会

■第127回 学校教育委員会

日 時 2011年7月25日(月)15:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 7人

報 告

1. 事務局より、『キリスト教理解のために』の贈呈先等について
2. 品田委員より、「日本カトリック学校連合会の動き」について

審 議

1. 「第25回 校長・理事長・総長管区長の集い（集い）」について
 - ①開催日
会場の都合により、2012年4月28日（土）－29日（日）に変更。
 - ②会場
都市センターホテル（東京・千代田区）に決定。
 - ③テーマ
1日目は、カトリック学校の原点（アイデンティティ）という意味で、『キリスト教理解のために』の著者二人に、本の内容についての講演を依頼する。
2日目は、カトリック学校の原点（組織）という意味で、教会とカトリック学校のかかわりについて、具体的に寄附行為の文案を委員会から提示し、話し合いのたたき台にってもらうなど、「集い」における問題提起の方法を今後検討していく。
2. 「コンタクト・パーソン」の提案（品田委員）

大きな大学に対して、委員会や学校連合会からの試みや案内を紹介する際に、窓口となって学校内で動いてもらえる教職員を、学長了解のもと、「コンタクト・パーソン」という形で委員会から任命し、依頼することはできないか。よりスムーズにカトリック教育やカトリック学校連携の浸透を図ることができると思われる。

 - ・上記提案については、「日本カトリック学校連合会」にゆだねる。

次回会議 2011年9月1日（木）15：00－17：00 日本カトリック会館

難民移住移動者委員会

■2011年度 第4回事務局会議

日 時 2011年7月1日（金）10：30－13：00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

参加者 5人

報 告

1. 「第8回 移住労働者と連帯する全国フォーラム・東海2011」について
6月18日（土）－19日（日）、中京大学・名古屋キャンパス（愛知・名古屋市）で掲記フォーラムが開催された。500名以上の参加があった。1日目は、「リーマンショック後の東海地域から多文化共生の道を考える ～移住者・支援者・行政の視点から～」という題目でシンポジウムが行われた。その後、16分科会に分かれて多岐にわたって外国人政策についての討議、情報交換が行われた。2日目は田中宏さん（一橋大学名誉教授）が「国・自治体・市民が今やれること ～多民族・多文化共生の道を創りだすために～」という題目で記念講演を行い、その後は東日本大震災被災地での多民族・多文化共生の救援活動の取り組み報告、全体集会などが行われた。
2. 「なんみんフォーラム2011年度総会」について

6月13日(月)、JELAハウス(東京・渋谷区)で掲記総会を開催、2010年度活動および決算報告、2011年度活動予定および予算が承認された。

3. 「ブラジル人学校訪問」進捗状況について

6月27日(月)、ブラジル人学校インスチット・エドゥカレ(茨城・つくば市)側と最終打ち合わせを行った。7月12日(火)は、授業参観、生徒との交流、先生との懇談会などを予定している。

4. 「世界難民移住移動者の日」(9月25日)ポスター進捗状況について

6月13日(月)に開催された「第3回事務局会議」での意見等からポスター案に修正を加え、2案にしぼって作成した。今後は、キャッチコピーの文字の色などを修正の予定。

審 議

「臨時全国担当者会議」プログラム確認について

7月13日(水)に開催予定の「臨時全国担当者会議」の参加者およびプログラムについて確認を行った。

■AOS(船員司牧)神戸研修会 「船員さんに感謝 船員さんを訪ねよう」

日 時 2011年7月9日(土) 10:00-16:00

場 所 午前-カトリック神戸中央教会(大阪教区) 午後-神戸海洋博物館(兵庫・神戸市)

参加者 約40人

出席者 2人

AOS神戸研修会は「船員さんに感謝 船員さんを訪ねよう-訪船ボランティアってご存知ですか-」というテーマのもとに開催された。午前中はカトリック神戸中央教会で、AOSの活動についての説明と活動報告が行われた。活動報告では、訪船ボランティアの報告と共に、各教会で行われている後方支援グループの報告もなされた。その後の意見交換では、以前船員をしていた参加者からこれからの活動に参考となるような貴重な意見を聞く事ができた。

昼食後は、神戸海洋博物館に移動し、南米への移民の出航の様子、神戸港の歴史や現状などに関するDVDを見て、現地解散した。

■ブラジル人学校訪問

日 時 2011年7月12日(火) 10:30-16:00

場 所 インスチット・エドゥカレ(茨城・つくば市)

参加者 9人

出席者 4人

リーマンショックの厳しい状況から立ち直りかけていたブラジル人学校は、東日本大震災による企業への影響により、そこで働く保護者の失職などで厳しい経営環境に追い込まれている。公的な援助がなく、孤立しがちな外国人学校に対して「忘れていない」というメッセージを発信し、支援を考えていくためにブラジル人学校訪問を計画し、つくば市の郊外にあるインスチット・エドゥカレ(吉田マリア静子校長)を訪ねた。授業参観をし、その後吉田校長の話を聞いた。校長によると、将来日本で生活する可能性の高いブラジル人の子どもにとって日本語の習得はとても重要なので、日本語授業の時間を多く取っているが、公的助成金のない学校にとっては、講師の給料を支払うことがとても困難である。保護者の負担軽減を思って授業料は安く抑えているが、今の状況で精一杯だということである。この訪問をきっかけとして、これから支援や交流の方法を探っていきたい。

■臨時全国担当者会議

「東日本大震災で被災した外国人への支援活動に関する情報交換」

日 時 2011年7月13日(水) 10:00-16:00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

参加者 19人

1. 各教区担当者および分野別担当者からの報告
2. 今後の支援体制検討について

外国人、特にフィリピン人への支援体制、また船員司牧の分野で、被災した漁師の支援体制について討論した。

■AOS(船員司牧)横浜研修会 「横浜港の船員さんを訪問しませんか」

日 時 2011年7月18日(月・祝) 10:00-17:00

場 所 カトリック末吉町教会(横浜教区)

参加者 約60人

出席者 1人

AOS 横浜研修会は「横浜港の船員さんを訪問しませんか? 厳しい労働環境におかれる船員さんたちを知ってください」というテーマのもとに開催された。参加者は末吉町教会に集まった後、大黒港湾見学グループと訪船グループの2つに分かれて港に向かい、両グループとも訪船することができた。

午後は教会に戻り、AOS川崎と横浜の活動説明の後、グループに分かれて午前中の体験の分ちかち合いの時を持った。その後、国際運輸労働組合(ITF)の鮎 俊博さんの「『ITF活動』について」という講演があり、AOS全国担当者の金 順鎬さんからのAOS活動への更なる支援の呼びかけで閉会となった。

■難民・移住労働者問題キリスト教連絡会 2011年度第4回運営委員会

日 時 2011年8月25日(木) 15:00-17:30

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

報 告

1. 入国管理センターへの訪問について
2. 移住連の活動について
3. チャリティーコンサートについて
7月9日(土) JELAハウス(東京・渋谷区)で掲記コンサートを開催、参加者は約100名。
4. 会計報告

審 議

1. ニュースレター37号について
11月15日発行予定。テーマを審議し、「難民・難民申請者の医療問題」に決定。
2. 賛同金について

カリタスジャパン

■第2回 カリタスジャパン事務局会議

日 時 2011年6月28日(火) 9:00-11:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 6人

報 告

1. 募金状況報告(6月27日現在)。四旬節献金は例年を下回る見通し。東日本大震災向け募金は6月27日現在で518百万円。
2. 東日本大震災関連
 - ・仙台教区サポートセンター、各ボランティアベースとも粛々と活動を継続中。引き続き被災家屋片付けなどの作業の他、仮設住宅入居支援や心のケア活動も本格化してきた。
 - ・中長期的に活動できる人材(ボランティア)が慢性的に不足している。
 - ・来年3月にカリタスジャパンから震災1周年活動報告書を発行する。

審 議

1. 2010年度年次報告書について、表紙のデザインを変え、東日本大震災対応(初動)についての報告を1ページ入れることに決定。
2. 2011年度全国教区担当者会議について、議題として以下の内容を実行委員会に提案する。
(1)東日本大震災と今後の災害対応(グループセッション含む)、(2)2010年度決算報告、
(3)2012年四旬節大綱審議、(4)啓発部会報告、など。
3. 2012年四旬節小冊子について、作成スケジュールを確認。

■第2回 カリタスジャパン委員会会議

日 時 2011年7月1日(金) 13:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 10人

報 告

1. 啓発部会
5月17日開催、会報7月号参照
2. 援助部会
 - (1)東日本大震災対応
 - ・仙台教区サポートセンターの4つのボランティアベースで、引き続き様々な活動を行っている。最近の傾向として、仮設入居手伝いと心のケアのニーズが増加している。
 - ・心のケアに関して、釜石ベースでは市の職員へのトレーニングの実施など、ノウハウを地元に残す取り組みも行っている。
 - ・石巻ではベースの新拠点となる建物を購入した。無料カフェ、ボランティア宿泊所となる他、地域の相談窓口的な存在を目指す。7月中旬より本格稼働の予定。
 - (2)国際カリタス総会(5月22日-27日、イタリア・ローマ)
 - ・菊地司教が国際カリタス副総裁、カリタスアジア総裁に就任。
 - ・国際カリタス総裁にはオスカル・ロドリゲス枢機卿が再任、事務局長にはミシェル・ロワ氏。
 - ・今後4年間の活動計画が承認された。

・ドナーカリタス（募金をした国のカリタス）を対象に、東日本大震災についての説明会を持った。

3. 4・5月度収支報告および募金報告

審 議

1. 国際カリタス東日本大震災緊急支援要請（Emergency Appeal/EA）について
緊急救援物資、心理ケア、生計手段回復の3本柱から成るEAが承認された。
2. 東日本大震災1周年活動報告書の作成について
来年3月にB5判の冊子を作成し、全募金者、その他関係諸団体へ配布する。
3. 2011年度定例全国教区担当者会議について（11月15日-16日）
東日本大震災体験の報告から今後の災害対応を考える、という内容を実行委員会へ提案。被災地で開催し、現地視察も入れる。
4. 援助審査5件（国内一般1、国内緊急3、海外一般1）を審査し、以下の2件を承認、1件を保留、2件を却下とした。
 - (1) スルガダルク「フードバンク事業」1,000,000円
 - (2) イラク「母子保健支援」50,000 USドル
5. 国際カリタス緊急支援要請（Emergency Appeal/EA） 以下1件の支援を決定した。
南スーダン「帰還民・避難民のための生活緊急支援（EA15/11）」20,000 USドル

次回日程 2011年9月1日（木）11:00-15:00

■第2回 カリタスジャパン啓発部会会議

日 時 2011年7月12日（火）13:30-16:30

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 10人

審 議

第1回啓発部会の議事録を承認した。

報 告

1. 東日本大震災 カリタスジャパンの動き
募金状況と活動状況について事務局より報告。
2. 大阪教区 自死についての勉強会
参加者は約130名。グループでの話し合いでは、さまざまな立場の人から自死の現実が語られた。教会の姿勢が変わったことに驚いた人も多かったため、今後、いろいろな場所で開催していく必要がある。
今後の勉強会予定は次のとおり
7月24日（日）東京西部地区
11月5日（土）静岡教会（横浜教区）
11月6日（日）平塚教会（横浜教区）
3. 21世紀キリスト教社会福祉実践会議 代表者会議
21世紀キリスト教社会福祉実践会議第8回大会の日時とテーマを決定した。
日 時 2012年2月18日（土）10:00-17:00
テーマ 「今改めて考える 今を生きる人びとに寄り添う」
場所は未定

審 議

1. 「つなぐ2012」について
今回の震災は、啓発部会のテーマ「自死と孤立」の問題にも深刻な影響を与えることが危惧される。啓発部会としては、当事者性に重きを置き、自死や孤立に関連する事柄を挙げる。
2. 意見集のまとめ方について
次回部会での継続審議とする。
3. 震災と啓発部会について
特に原子力発電所事故の影響（孤立、自死など）は、看過できない。次回部会までに、本部会としての課題、役割等を各委員で持ち帰り、検討する。
4. 公開勉強会について
審議事項の1から3を踏まえ、秋田大学大学院の佐々木久長さんを講師に迎えて、公開勉強会を行う。佐々木さんは、秋田県で地域の自死防止の取り組みを行っており、被災地においても援助者の研修等にあたっている。自死防止と震災との関連も踏まえた勉強会を依頼する。

日 時 9月10日（土）14:00-16:30（予定）

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

次回日程 2011年9月10日（土）16:30-18:30 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

正義と平和協議会

■死刑廃止を求める部会

日 時 2011年7月6日（水）18:30-20:00

場 所 イエズス会社会司牧センター（東京・千代田区）

出席者 4人

審 議

1. スタディ・ツアー「死刑に関する映画の上映会」について具体的に検討を行った。
2. 江田五月法務大臣との面談について検討した結果、キリスト者政治連盟に相談する。
3. 2012年度活動計画
 - ・年一回、講演会を行う。
 - ・ニュースレターは年3回発行。
 - ・部会は年8回開催予定。

■20条の部会

日 時 2011年8月4日（木）16:00-18:00

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

出席者 6人

審 議

1. 2012年度の活動計画と予算の検討
 - ・シンポジウムと正義と平和全国集会への参加
 - ・ニュースレターは年2回発行。
2. 現地学習会「靖国神社と遊就館」について

11月19日（土）に行う。

■NCC 女性委員会

日 時 2011年7月15日（金）10：30－13：00

場 所 聖公会センター（東京・新宿区）

出席者 カトリックから1人

報 告

1. 売買春問題ととりくむ会

「これでいいのか女性の人権 支援の現場から」集会が5月26日、衆議院第二議員会館（東京・千代田区）で行われ、参加した。

2. 日本軍「慰安婦」問題

戦時性暴力問題連絡協議会参加団体として、第10回「日本軍『慰安婦』問題解決のためのアジア連帯会議」（8月12日－15日、韓国・ソウル）の開催に協力する。

審 議

1. 韓国挺身隊問題対策協議会の「戦争と女性の人権博物館」設立のため、募金を呼びかける。

2. 第10回「日本軍『慰安婦』問題解決のためのアジア連帯会議」に、NCC女性委員会より代表3名を派遣する。

■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2011年8月1日（月）18：00－20：00

場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室（東京・新宿区）

出席者 カトリックから2人

審 議

1. 声明・要請文に関して文案の検討

2. 学習会「Xデー・即位礼・大嘗祭・大嘗祭に向けて」（第二回目）

3. 学習会予定の変更について

部落差別人権委員会

■定例委員会

日 時 2011年5月27日（金）11：00－16：00

会 場 日本カトリック会館 会議室2

出席者 13人

欠席者 3人

報 告

1. 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議（「同宗連」）について

「同宗連」は2011年4月13日（水）、ホテルグランヴィア京都（京都）で「『同宗連』結成30周年記念式典」を開催した。また翌日4月14日（木）には、真言宗智山派宗務庁（京都）で「第31回『同宗連』

総会」を開催し、議長教団に真言宗豊山派を選出した。

2. 部落問題に取り組むキリスト教連帯会議（部キ連）について
部キ連は2011年5月17日（火）、日本キリスト教会大阪北教会（大阪）で「第28回部キ連総会」を開催し、議長教団に日本キリスト教会を選出した。
3. ハンセン病市民学会「第7回総会・交流集会 in 名護・宮古島」について
ハンセン病市民学会は、「いま、ぬけだそう！～手をつなぎ共に生きる社会へ～」をテーマに、2011年5月21日（土）、22日（日）、23日（月）に国立療養所宮古南静園（沖縄・宮古島）、名護市民会館、国立療養所沖縄愛楽園（沖縄・名護）で総会と交流集会を開催した。
4. 「5・23 メッセージ（石川一雄さん）」について
狭山事件で無実を訴え続けている石川一雄さんから、不当逮捕から48年にあたる5月23日に向けた「メッセージ」が届いた。なお、5月10日付で狭山事件を担当する東京高裁第4刑事部裁判長が小川正持裁判長に交代した。
5. 大阪教会管区部落差別人権活動センター
「対話集会」を10月9日（日）、10日（月・祝）に大阪梅田教会（大阪教区）で開催する。
6. 東日本大震災へのボランティア活動について
(1) 平賀司教より、仙台教区（東日本大震災）へのボランティア近況報告。
(2) 吉岡師より、大阪教区が立ち上げた「仙台教区サポートセンター後方支援室（ENGO（えんご）プロジェクト）」とシナピスの活動（原発への取り組み）について報告。

審 議

1. 夏季合宿について
夏季合宿を次のとおり開催する。
テーマ わたしの隣人とはだれですか
日 時 2011年7月16日（土）～17日（日）
会 場 新発田市隣保館（新潟・新発田市）、カトリック新発田教会（新潟教区）
講 師 長谷川サナエさん（部落解放同盟新潟県連合会委員長）
小池武志さん（部落解放同盟新潟県連合会）
宿 舎 新発田ニューホテルプラザ（新潟・新発田市）
新発田教会では『部落差別の克服をめざして 部落問題に関するカトリック教会の基本姿勢』（社会司教委員会）を配布して説明を行う。
2. 全国会議について
全国会議を次のとおり開催する。
日 時 2011年11月4日（金）17:00～5日（土）17:00
会 場 日本カトリック会館
「部落差別問題へのわたしたちの関わりの原点（仮称）」をテーマに分かち合いを行う。
助言者は福岡ともみさん（NPOなら人権情報センター）に依頼する。
3. 春季合宿（2012年）について
今年の春季合宿が東日本大震災により中止となったので、来年の春季合宿は同じテーマで行う。
テーマ 「人権のふるさとを訪ねて～水平社博物館と、おおくぼまちづくり館～」
日 時 2012年3月3日（土）～4日（日）
会 場 水平社博物館（奈良・御所）、大和八木教会（京都教区）
講 師 吉田栄治郎さん
4. 東京電力福島第一原子力発電所の事故について
差別の視点から原子力発電所事故について意見交換を行った。福島の人（子ども）が避難先で差別やいじめにあっていないこと、福島ナンバーの車両に対する偏見、農作物の風評被害のこと、放射線量が基準値以内ということで現地での米の作付けはできたが、果たして収穫時に無事に基準値以下になり、販売

ができるのかなどの意見がでた。

5. シンポジウム「福音と差別」について
2012年度のシンポジウムは大阪教会管区で開催する。
6. 2010年度決算報告、活動報告について
2010年度活動報告および決算報告が行われ、承認された。

■事務局会議

日 時 2011年7月8日（金）11：00－15：00
会 場 日本カトリック会館 会議室4
出席者 7人

報 告

1. 第21回「就職差別撤廃」東京集会について
上記集会が2011年6月10日（金）、豊島公会堂（東京・豊島区）で行われた。参加者は約600人。
2. 「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」（結成集会）について
3. シンポジウム「～熊本地方判決から10年～ハンセン病問題の現在と未来を問う」について
ハンセン病国賠訴訟全国弁護団連絡会が2011年6月21日（火）、スクワール麴町（東京・千代田区）でシンポジウムを開催した。徳田靖之弁護士が基調報告を行い、その後、パネルディスカッションを行った。パネリストには豎山 勲さん、神美知宏さん、村上絢子さん、安原幸彦さん、コーディネーターは国宗直子さん。熊本裁判の位置づけや判決後の10年の歩みと今後の方向性について話し合った。課題として、「ハンセン病療養所の将来構想」「療養所内の納骨堂」が取り上げられた。
4. 「同宗連」について
「同宗連」第2連絡会が2011年6月27日（月）、本門佛立宗・本山宥清寺（京都）で行われた。
5. 部落解放第43回東日本研究集会について
2011年7月6日（水）、7日（木）に「平和と人権の21世紀を創造し、部落解放を展望する新たな理論を築こう」を集会スローガンに群馬県みなかみ町で研究集会を開催した。分科会「宗教と差別」では、「同宗連結成30年の成果と課題」をテーマに意見交換が行われた。
6. 大阪教会管区部落差別人権活動センターからの報告
7. 東日本大震災について

審 議

1. 夏季合宿について
2011年7月16日（土）－17日（日）に新潟・新発田市などで行う夏季合宿について審議。
2. シンポジウム「福音と差別」について
今年度、長崎で開催予定のシンポジウムについて審議。
3. 全国会議について
2011年11月4日（金）－5日（土）に行う全国会議の内容について審議。
4. 東京電力福島第一原子力発電所の事故について
声明を出すことを検討する。

■夏季合宿 「わたしの隣人とはだれですか？」

日 時 2011年7月16日（土）13：30－17日（日）12：00
会 場 新発田市隣保館（新潟・新発田市）、カトリック新発田教会（新潟教区）
講 師 長谷川サナエ（部落解放同盟新潟県連合会委員長）

小池武志（部落解放同盟新潟県連合会）

参加者 29人

1日目は、新発田市隣保館で長谷川サナエさんから、新発田市における被差別部落の歴史・差別の実態・差別克服への取り組みについて学んだ。その後、「神林村差別行政裁判」を闘った現地で、長谷川さんの説明を受けた。新潟県人権・同和センター発行の『新潟でおきた部落差別事件』によると次のように解説している。

「当時、混住なしで100戸を超えた県内最大規模の被差別部落・Y地区は、田園風景の端に位置していながら、田や畑を持っていない家がほとんど。高校への進学率は他地域より十数パーセント低く、学校を卒業した男性は1年中、県外の土木関係の仕事に旅稼ぎ（出稼ぎ）に出ました。女性は竹かご作りを生業とし、男女とも被差別部落以外の人と結婚ができないという深刻な結婚差別が、何代も続いていました。このため、『旅稼ぎしないで済む生活がしたい』と1984年3月末、Y支部が結成され、村当局に対して、被差別部落の存在を認め同和行政を実施するよう、また直ちに地区指定を行い、同和行政を行うよう要求しました。」

「神林村差別行政裁判」は1984年に提訴され、新潟地方裁判所は1988年1月26日「地区指定の有無にかかわらず、そこが被差別部落の実態を持っているならば、行政は同和対策事業をしなければならない」と判決を下した。

次に訪ねた胎内市乙総合福祉センター（新潟・胎内市）では、小池武志さんが現地の説明と運動にかかわることになった体験について話した。

2日目は、新発田教会でミサ（平賀司教司式）をささげ、その後、新発田教会の信徒の方々と「差別といじめ」について分かち合いを行った。フィリピン人信徒の参加も多く、特に子どもや若者からのいじめについての発言は参加者に多くの宿題を与えることになった。

外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会（外キ協）

■外キ協事務局会議

日時 2011年7月21日（木）18:00-20:30

場所 日本キリスト教会館（東京・新宿区）

出席者 カトリックから1人

議 題

2011年全国協議会と第15回国際シンポジウムの最終確認をした。

日時 2011年7月25日（月）-27日（水）朝

会場 在日本韓国YMCA（東京・千代田区）

テーマ 「東日本大震災と外国人～日韓在日教会の宣教課題」

役割分担 カトリックは、講演と全体会議の司会。

その他 ① 「2012年1月基本文書」修正意見について討議。

② 「国際シンポ共同声明の骨子案」の検討。

③ 今後の活動として、震災に対して日韓在日教会が何をするか、ということ話し合い、「外国人被災者に関するキリスト教連絡会」を作って世界教会に発信していくことを提案する。

■第15回外キ協国際シンポジウム「東日本大震災と外国人～日韓在日教会の宣教課題」

日時 2011年7月25日（月）-26日（火）

会 場 在日本韓国YMCA（東京・千代田区）

参加者 39名。カトリックからは3人

主 催 （日本） 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会
日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会
（韓国） 韓国基督教教会協議会正義と平和委員会
韓国教会在日同胞人権宣教協議会

目 的 ①東日本大震災の被災者・被災教会への支援、とりわけ被災外国人への支援の現状と今後の課題について協議する。
②「韓国併合」から101年を迎えて、在日韓国・朝鮮人の一世紀にわたる歩みが「現在」に問いかけている意味を共有すると共に、いまだなされていない日本の歴史責任の課題を確認する。
③社会において周縁化され、脆弱な生活基盤すら金融危機と大震災によって奪われようとしている旧植民地出身者、移住労働者、移住者の困難な現状を直視し、日本と韓国における外国人の法的地位と権利を保障する課題を、日・韓・在日教会の宣教課題として協議する。

< 7月25日（月） >

開会礼拝 「失うものはそれを救う」 洪 性完さん（在日大韓基督教会総幹事）

報告① 「東日本大震災と外国人住民」 佐藤信行さん（外キ協事務局）

< 7月26日（火） >

聖書研究 「シリア・フェニキアの女の話をとおして見たこの時代の遠隔治癒の課題」
李 海学さん（韓国NCC正義と平和委員会委員長）

報告② 「被災地での外国人」 有川憲治さん（カトリック東京国際センター）

発題① 「日本における宣教の課題と記念の神学～ヤコブの記念碑 小考～」
香山洋人さん（日本聖公会司祭）

発題② 「キリスト教多文化運動としての地域社会多文化政治」
パク・チョヌンさん（韓国NCC正義と平和委員会委員・安山移住民センター所長）

全体協議（1）「日・韓・在日教会の共同課題、緊急課題」共同宣言の検討

全体協議（2）シンポジウム共同宣言採択

外国人被災者に関する連絡ネットをとおして、情報交換を密にする。また被災した在日韓国・朝鮮人高齢者、日本人と結婚または死別し孤立している外国人被災女性、被災した外国人住民の子どもへの視点を忘れず、今後各教派団体に支援活動をしていく。

閉会礼拝 李 明男さん（韓国教会在日同胞人権宣教協議会会長）

HIV/AIDS デスク

■第3回 HIV/AIDS デスク

日 時 2011年8月31日（水）13:30-15:30

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 6人

報 告

1. 勉強会（6月17日）について

講演内容はとても評判が良かったが、分かち合いの時間はもっと長いほうが良いという意見が多かった。講師を依頼した産婦人科医師がその日の診察を終えてから駆けつけてくれたので仕方なかったが、次回からは時間配分に配慮する。

2. AIDS 文化フォーラム in 横浜 (8月5日-7日) について
今年のオープニングでは、震災を受けた陸前高田市からエイズ啓発の関係者が登場し、いつもと違う印象を受けた。「宗教とエイズ Part 6」では宮本秘書が性別のある人形と共に登壇して、仏教・プロテスタント・イスラム教のパネリストと対談した。展示会場では今年も当デスクの活動を紹介できた。
3. AIDS 文化フォーラム in 京都 (8月28日) について
10月に開催されるフォーラムのプレ・イベントとして1日だけ花園大学(京都)で開催した。講演の前後に、入口脇の展示ホールに多くの人が立ち寄り、カトリックが AIDS 啓発に取り組んでいることを認識してもらえた。本番の10月1日-2日には、河野委員と事務局の伊東が参加。10月2日に宮本秘書が参加。
4. 国連ハイレベル会議の報告会(7月15日)について
アメリカのニューヨークで6月8日-10日に開催された「2011年国連総会エイズに関するハイレベル会合」の報告会が、慶應義塾大学三田キャンパスであり、事務局から伊東が参加した。エイズ&ソサエティ研究会議のホームページ「HATプロジェクト」に政治宣言の日本語(仮訳)がアップされている。
5. 南ア・チャリティーコンサート(9月18日)について
赤堤教会(東京教区)で開催されるコンサートのチケットを前売り中。鈴木師が百合ヶ丘教会(横浜教区)で広報する。当日は伊東が参加予定。
6. 中央アフリカ共和国について
河野委員が、8月2日-26日、中央アフリカ共和国の診療所(HIV/AIDS 啓発と診療、栄養失調児支援をしている)や洋裁教育を視察した。社会構造の欠陥からか、薬剤などが不足している実態が見えてきた。エイズ孤児が偏見や差別を受けて路上生活になってしまうケースもある。

審 議

1. 世界 AIDS デー(12月1日)企画の詳細について
ミニカードは、情報データの更新と表側のイメージを変更する。部数は昨年と同様にする。
ポスターは、昨年採用しなかったデザインを手直しする。昨年と同数を印刷する。
2. 小冊子の発行について
HIV 諸問題検討特別委員会が2001年に作った小冊子を配布している。発行から10年経ったので、新しく出版企画したほうがいい。配布対象はカトリック学校で、小冊子を受け取った生徒が帰宅して家族と一緒に話せるような内容を考える。

次回日程 2011年10月5日(水) 13:30-15:30

中央協議会事務局

■総務

9月会議予定

1日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
〃	第128回学校教育委員会	〃
〃	カリタスジャパン事務局会議	〃
2日(金)	正義と平和協議会死刑廃止部会	〃
5日(月)	典礼委員会定例会議	御聖体の宣教クララ修道会 (長野・軽井沢)
5日(月)-7日(水)	2011年度全国典礼担当者会議	〃
6日(火)	部落差別人権委員会	日本カトリック会館

8日(木)	社会司教委員会「核廃絶に向けた懇談会」	〃
〃	難民移住移動者定例委員会	〃
9日(金)	社会司教委員会冊子編集会議	〃
10日(土)	第3回「自死と孤立」公開勉強会	ニコラ・バレ修道院(千代田区)
〃	カリタスジャパン啓発部会	〃
〃	難民移住移動者委員会AOS研修会	カトリック四日市教会(三重)
11日(日)	「3・11東日本大震災を心にとめ、死者への追悼・被災者への慰め・被災地の再生を求める礼拝」	日本基督教団下谷教会(台東区)
13日(火)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク	日本カトリック会館
13日(火) - 15日(木)	CAPB(全国ブラジル人司牧者・協力者の会総会)	〃
14日(水)	カリタスジャパン委員会	〃
15日(木)	正義と平和協議会定例会議	〃
〃	社会司教委員会 司教秘書合同会議	〃
16日(金)	部落差別人権委員会定例委員会	〃
20日(火)	正義と平和協議会事務局会議	〃
22日(木)	日本キリスト教連合会第3回常任委員会	ルーテル市ヶ谷センター (新宿区)
24日(土) - 25日(日)	死刑廃止部会スタディ・ツアー	日本カトリック会館
26日(月)	典礼委員会「公式祈願」研究小委員会	〃
27日(火) - 29日(木)	典礼音楽担当部門会議	長崎純心聖母会(東京・八王子)
29日(木)	第64回ルーテル/ローマ・カトリック共同委員会	上智大学

10月会議予定

6日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
7日(金)	2011年度特別臨時司教総会	〃
〃	カリタスジャパン援助部会	〃
11日(火)	正義と平和協議会20条の部会	〃
14日(金)	日本カトリック神学院助祭研修	〃
〃	列聖列福特別委員会	カトリック高槻教会(大阪)
18日(火) - 20日(木)	日本キリスト教連合会研修会	富士箱根ランド(静岡)
19日(水)	日本カトリック小中高連盟代表委員会	日本カトリック会館
26日(水)	会計月次チェック	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2011年9・10月号 (通巻484号)

発行日 2011年9月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457